

ビジョン策定の背景

- 「みやぎ自動車産業振興協議会」設立（2006.5）
- 「みやぎ自動車産業振興プラン」策定（2012.5）

- ▶ 県内の自動車関連産業の企業立地・進出や新規参入・取引拡大が進む
- ▶ 輸送用機械器具製造業の製造品出荷額等は、プラン策定前から約3倍に拡大
- ▶ 東日本大震災からの復興の原動力として、着実に集積が進展し、本県の産業・経済を牽引

自動車関連産業を取り巻く環境の著しい変化

- ▶ 100年に一度の大変革期を迎え、CASEに代表される新領域での技術革新
- ▶ 国内需要の減少による国内の自動車生産の縮小
- ▶ 海外市場の拡大やグローバル競争の激化
- ▶ 脱炭素社会（カーボンニュートラル）の実現に向けた対応
- ▶ 新型コロナウイルス感染症への対応 等々

この変革期を好機と捉えて、今後の取組を積極的・戦略的に展開する必要がある

今後10年先を見据えた自動車関連産業の更なる振興に向けて、関係者が連携して一体となった取組を効果的に進めるに当たり、基本的な考えや方向性を共有するための「みやぎ自動車産業振興ビジョン」を2021.7月に策定。

ビジョン内容（目標指標）

全体

	目標値(R6年度)
製造品出荷額※1	1兆1,348億円
付加価値額※2	4,510億円

※1 製造品出荷額
＝「輸送用機械器具製造業」
＋「電子部品・デバイス・電子回路製造業」
※2 付加価値額
＝製造品出荷額＋製造品在庫額＋半製品・仕掛品在庫額－内国消費税額－原材料使用額等－減価償却費

重点

- 受注獲得取引創出** 取引あっせんや展示商談会の開催などにより、県内企業の受注獲得や取引創出を図る。
→ **目標値：新規受注獲得件数 160件**
- 人材創出・育成** 自動車関連の知識・技術を習得する機会の場の提供により、県内で活躍する人材の創出や育成を図る。
→ **目標値：研修受講者数 延べ1,200人**
- 技術開発技術力強化** 次世代技術に関する製品開発やAI・IoT等活用による生産技術力の向上により、県内企業の技術開発や技術力の強化を図る。
→ **目標値：支援企業件数 延べ300件**

現状

全体

	実績※R4実績
製造品出荷額	1兆3,906億円
付加価値額	4,016億円

最新の公表値であるR4年度実績値においては、製造品出荷額は達成。付加価値額については、目標値と乖離がある状態。
主な要因としては、資材高騰及び半導体供給不足が考えられる。
※R6年度の実績値が未公表であり、達成の可能性あり。

重点

- 受注獲得取引創出** 令和3年度「87件」
令和4年度「113件」
令和5年度「75件」
令和6年度「19件」
→ **目標達成 294件**
- 人材創出・育成** 令和3年度「594人」
令和4年度「541人」
令和5年度「307人」
令和6年度「420人」
→ **目標達成 延べ1,862人**
- 技術開発技術力強化** 令和3年度「143件」
令和4年度「118件」
令和5年度「109件」
令和6年度「108件」
→ **目標達成 延べ478件**

上記を踏まえ、「第1期（2021～2024）の振り返り」及び「第2期（2025～2027）の取組方針」を整理

分野

取り組んできた事業

第1期実施計画(2021～2024)の振り返り(評価)

受注獲得
取引創出

- 自動車関連産業参入支援事業
(旧：取引情報収集・取引あっせん事業)
(旧：県単独展示商談会開催事業)
- 合同展示商談会開催事業
(旧：とうほく合同展示商談会開催事業)

- 合同展示商談会開催事業においては、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、現地開催に加え、新たにオンラインプレゼンを実施した。その結果、来場者数を大きく上回るアクセス数となり、取引機会創出につながった。
- 自動車産業において、サプライチェーン全体でのカーボンニュートラル化が求められていることから、脱炭素化計画策定について、伴走型支援を実施した。

人材創出・
育成

- みやぎカーインテリジェント人材育成センター研修事業
- 自動車技術研修事業
- 自動車関連産業セミナー開催事業
- 自動車関連人材育成補助事業

- カーインテリジェント人材育成事業において、東北7県の学生を対象に座学、実習形式の研修講座を開催し、延べ378人が修了し、全受講者の約3割が自動車関連企業へ就職した。一方で、県内事業者からは人材不足との声がある。
- 自動車技術研修事業集において、集合型研修及び個別対応研修を実施し、集合型研修56人、個別対応研修462人が参加した。研修については、新型コロナウイルス感染症対策として、R3年度はオンラインで実施した。

技術開発・
技術力強化

- 生産現場改善支援事業
- 新技術・新工法研究開発促進事業
- 高度設計技術普及支援事業
(旧：製品開発力強化支援事業)

- トヨタ自動車東日本(株)と連携し、ものづくり競争力の向上及び生産現場の改善を目的とし、AI人材育成の支援を実施した。
- 生産現場改善支援事業において、集合研修を実施するとともに、個別支援として、延べ15社を支援し、地元企業の生産性や品質、安全性の向上を図った。
- 高度設計技術普及促進事業として、自動車部品の実用化・量産化を目指し、個別プロジェクトとして延べ13社に対し、新規受注獲得に向け支援した。